

今行くべき街～いわて杜と水の都～盛岡紀行

◎着物 de もりおか街歩き体験

着物を着て、盛岡の街を散策できます。同日に運行している「ボンネットバス(\*)」とのタイアップ企画です。

実施日:10月1日(日)、7日(土)、15日(日)、21日(土)、29日(日)

実施時間:10:00～16:00(着付け時間含み最大6時間)

※16:00終了。15:30までにはお戻りください。

料金:3,000円(着物レンタル料、着付け料金含む)

※ヘアメイクはございません。

予約はこちら↓

会場:盛岡町家三崙亭(盛岡市鉦屋町9-35)

予約申込先(メール):kankou@iwate-arts.jp

※事前予約制。(3日前まで)

当日申込みは空きがある場合に限り可。

【メール送信時のお願い】以下、ご入力の上、上記アドレスへお送りください。

・件名:着物 de もりおか街歩き体験予約

・本文:予約日時、氏名、電話、メールアドレス、性別、身長、足のサイズ

問合せ:もりおか町家物語館 TEL 019-654-2911

(\*)ボンネットバスの運行情報については、  
みちのりトラベル東北へお問合せ・お申ください。

<https://www.michinoritavel-tohoku.jp/>



★オプション企画★「お茶席体験」

実施日:10月15日(日)、29日(日)

実施時間:11:00～15:00(先着30名)

※お菓子がなくなり次第終了。

料金:盛岡のお菓子付1人500円

※着物(浴衣含む)着用の方は100円引き

場所:もりおか町家物語館 母屋2階和室



トラブルカフェシアター 第25回公演

『さかさまの地図』

【脚本・演出】遠藤雄史(トラブルカフェシアター)

日時:10月21日(土)14:00 / 18:30

予約はこちら↑

22日(日)14:30 ※全公演30分前開場

会場:風のスタジオ

料金:一般前売1,500円(当日2,000円)

大学生1,000円(前売・当日共)

高校生以下500円(前売・当日共) ※未就学児入場不可

問合せ:080-1827-9467(遠藤) mail:tct\_morioka@yahoo.co.jp



鉦屋町界隈  
情報

『まちの文化と日常の魅力を伝えるパネル展

～人からひもとくまちの魅力のルーツ～

@もりおか市鉦屋町界隈』

盛岡町家「大慈清水御休み処」で、鉦屋町界隈の地域に暮らす人々のインタビュー記事と写真のパネル展示により、まちの文化と日常の魅力を紹介します。

日時:2023年10月1日(日)～31日(火)

10時～16時 ※水曜休館

会場:大慈清水お休み処(盛岡市鉦屋町3-15)

【お問い合わせ・最新情報】

HP↓

NPO法人盛岡まち並み塾事務局

所在地 〒020-0827 盛岡市鉦屋町3-15

「大慈清水御休み処」内

※大慈清水のすぐ近くです♪

TEL 019-656-1603

営業時間 10:00～16:00

(水曜日定休・年末年始休業)



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

本部HP

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 盛岡南大通ビル3階

TEL(019)656-8145 FAX(019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL https://iwate-arts.jp



【肴町事務所・風のスタジオ】

風のスタジオHP

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL(019)604-9020 FAX(019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL https://kaze.iwate-arts.jp

<窓口営業時間>月～土9:30～17:30

<施設利用可能時間>9:30～21:30 ※日及び祝日・年末年始休み



【もりおか町家物語館】

大正蔵1階  
「時空の商店街」  
SHOP&CAFE  
インスタグラム

〒020-0827 盛岡市鉦屋町10-8

TEL(019)654-2911 FAX(019)654-2913

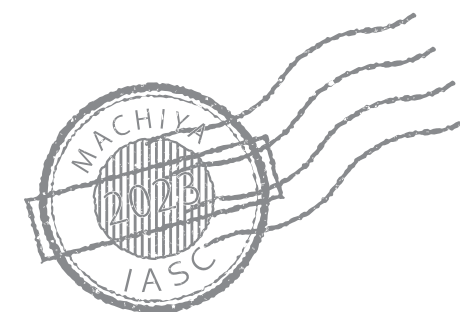
E-mail machiya@iwate-arts.jp URL https://machiya.iwate-arts.jp

<開館時間>9:00～19:00(最終入場18:30)※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで

<大正蔵1階ショップ&カフェ営業時間>10:00～17:00

<休館日>毎月第4火曜(祝日の場合はその翌日)年末年始12/29～1/3

<入館料>無料 ※一部企画展は有料の場合があります。



10

もりおか町家・風の通信





# もりおか町家物語館

★10月は24日(火)が休館日です★

## 【盛岡市所蔵美術品展】

### 「秋の訪れ」

盛岡市所蔵の美術品の中から、今回は秋を感じられる作品を展示しています。五味清吉、齊藤二男、田辺至、橋本八百二の作品です。ぜひご覧ください。

< 会期 > ~ **11/26 (日)**  
**9:00 ~ 19:00 (最終入場 18:30)**

< 会場 > **大正蔵1階 展示コーナー**

今行くべき街 ~いわて杜と水の都~ **盛岡紀行**

## 朗読劇『盛岡ノート』

今から80数年前、盛岡の魅力美しい文体で記した若き詩人がいた立原道造、恋人にあてたノートだ

【作】立原道造

【脚本・演出】坂田裕一

【語り】長谷川拳杜 (IBC 岩手放送)  
石橋美希 (岩手めんこいテレビ)

【演奏】三浦祥子 (チェロ)  
村野井友菜 (フルート)  
長谷川恭一 (作曲・ピアノ)



予約はこちら↑

日時：10月14日(土) 14:00  
15日(日) 11:00 / 14:00  
※全公演30分前開場

会場：もりおか町家物語館 浜藤ホール  
料金：一般1,000円 (事前予約制)  
定員：80名  
予約：mail: kankou@iwate-arts.jp

TEL:019-654-2911 (もりおか町家物語館)  
問合せ：TEL:019-654-2911 (もりおか町家物語館)

TEL:019-604-9020 (いわてアートサポートセンター 風のスタジオ)

## 「大正蔵1階 SHOP & CAFE」 <オススメ商品のご案内>

今月で紹介するのは、アロニアコンフィチュール (サンファーム)

2023年産のアロニアを瞬間冷凍し、ブルムリー (青リンゴ) と一緒に煮込んでラム酒で香りづけ。大人のジャムの逸品です。

アロニアは盛岡ベリーとも言われている抗酸化作用の高いスーパーフルーツ。ブルムリーはイギリス原産のクッキングアップルの王様ですが、日本では盛岡、長野、北海道の余市でしか作られていない貴重なリンゴです。この秋、クリームチーズなどに合わせてワインのおつまみにいかがでしょうか？



670円 (税込)

その他、ショップでは盛岡の工芸品や地酒、銘菓など、賑わいに溢れた品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。

営業時間：10:00 ~ 17:00

盛岡町家+アートイベント  
MACHIYART2023



## 第49回 盛岡彫刻シンポジウム 野外展

2023.9.24 (日) - 10.9 (月・祝) もりおか町家物語館 風の広場

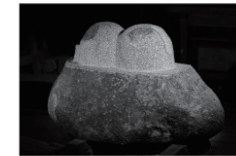
有馬 辰樹  
「存在の跡」



佐々木 悦也  
「地の声を聴く」



菅原 睦  
「Isolation」



藤川 健  
「生命の断片No.38」



藁谷 収  
「古代へーⅢ」



主催 盛岡市、盛岡彫刻シンポジウム実行委員会、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

コミュニティスペース DOMA  
イベント情報

## 水と器の違いを楽しむコーヒー体験

盛岡の自家焙煎コーヒーを、いろいろな方法で飲み比べてみよう！

日時：10月1日(日)、8日(日)、15日(日)、29日(日)

①11:00 ~ 12:15 ②13:00 ~ 14:15 ③15:00 ~ 16:15

体験料金：¥1,000 (お菓子付) 定員：各回10名 (1日合計30名)

会場：もりおか町家物語館 母屋1階 (※旧カフェ DOMA)

※こちらで作品を展示することができます。詳しくは当館までお問合せください。

予約はこちら↓



## リレーコラム No.82

盛岡ノート再刊と朗読劇

夭折の詩人、立原道造晩年の作「盛岡ノート」は、約1か月の盛岡滞在の様子や心の動きを、恋人に宛てた日記風の覚書である。盛岡風景の描写と、立原自身の心の葛藤が同時進行で記され、日本の文学史上でもある種の分岐点と評価される。

初版は、川徳が発刊。再刊は平成19年に盛岡ノート刊行委員会と東山堂書店が担った。再刊は2刷まで出されたが、わずか一年で完売。現在古書店やインターネットでは3千円から一万円以上の高値で取引されている。

本年、ニューヨークタイムズの「今年、行くべき世界の52都市」の中で、盛岡市は二番目にランクされた。都市文化と自然との調和、コーヒーやジャズ、その他の暮らし文化が注目を浴びている。だが、記者の目は、盛岡の一部を見たに過ぎない。沢山の魅力が盛岡には眠っている。

「光が水の底に届くのを見た」という中津川、黄昏の南昌山や岩手山のシルエット、街なかの火の見櫓、小さな都会の街並み、寺院で聞いたレコードコンサートでの「アダジオ」、詩人との語らい、愛宕山界隈の果樹園等々、立原道造は盛岡の魅力を熱く記す。ニューヨークタイムズより先に、80数年前のことだ。

この「盛岡ノート」を復刊させたいと、幾人かの人から声をかけられた。「今年だから意味がある」という方もいらした。印刷所に問い合わせたら幸い「版」は残っていると。迷わず、増刷を決意した。来盛の観光客や知人へのお土産に最適の一冊になるだろう。発売は、10月19日、立原道造が盛岡を離れたその日にした。本体価格1250円 (消費税込み1375円)。刊行委員会の事務局を当法人が担い、前回同様、東山堂が出版する。

発行前には、「盛岡ノート」の朗読劇を行う。ピアノ・チェロ・フルートの生演奏と映像付きの朗読劇で、10月14、15日もりおか町家物語館浜藤ホールで上演する。本も同日、町家物語館で先行販売する。

NPO法人いわてアートサポートセンター  
理事長 坂田 裕一